



平成 30 年 8 月 29 日

各 位

会社名 サムティ株式会社
代表者名 代表取締役社長 江口 和志
(東証第一部・コード 3244)
問合せ先 取締役経営管理本部長 松井 宏昭
電話番号 06-6838-3616 (代表)

販売用不動産の評価損の計上に関するお知らせ

当社は、平成30年11月期（平成29年12月1日～平成30年11月30日）において、下記のとおり、販売用不動産の評価損を計上することをお知らせいたします。

(1) 評価損の経緯及び内容

当社グループは、連結子会社である合同会社アンビエントガーデン守山（以下「AG 守山」）が保有するピエリ守山を魅力的な商業施設として再生し、地域経済の発展に資することを目的として同施設の営業を行ってまいりました。現在では約 110 のテナントが出店し、年間来館者数は 350 万人に達するなど、当初企図した目的は一定程度達成できたものと考えております。

一方で、当社グループは、時代のニーズに応じて、より大きな成長が期待できる分野に経営資源を集中させることが重要であると考えております。昨今、日本政府の観光立国政策を背景としたインバウンド（訪日外国人）需要の増加によりホテル市場は活況を呈しております。

当社グループは、平成 28 年 7 月 8 日に公表いたしました中長期経営計画「Challenge 40」において、「ホテル開発事業の展開」を重点戦略の 1 つとして掲げており、現在の事業環境下においては、ホテル市場に経営資源を投入することが企業価値の向上に資すると判断しております。

このような判断のもと、当社グループはピエリ守山に投入している経営資源を回収し、回収した経営資源をホテル開発事業に投入することで更なる企業価値の向上を図るべく、ピエリ守山の売却活動を行ってまいりました。

この度、売却候補先より購入価格の提示があったため、当該価格まで評価を見直しすることといたしました。これにより、連結損益計算書において約 42 億円のたな卸評価損が売上原価に計上されることとなります。

ピエリ守山は AG 守山が保有するものでありますが、AG 守山を当社が連結子会社化する際に資産及び負債の時価評価に基づく評価差額を計上しております。すなわち、連結決算上の帳簿価額は「AG 守山単体決算上の帳簿価額」及び「時価評価に基づく評価差額」にて構成されております。なお、資産及び負債の時価評価に基づく評価差額は資金の入出金を伴いません。この度、売却候補先から提示された価格は、「AG 守山単体決算上の帳簿価額」を上回る見込みであり、グループ戦略の観点から、この度の判断を行ったものであります。

(2) 今後の見通し

本件の評価損計上による当社グループの業績への影響を含む今後の見通しにつきましては、本日公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」に反映しております。

以上